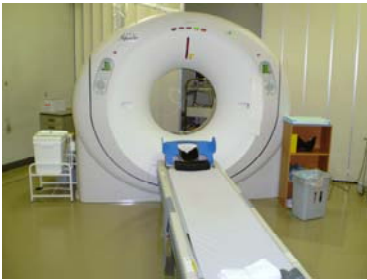


放射線部の機器が新しくなりました！

平井 幸栄（放射線部技師長）

私たち放射線部は地下 1 階、エレベーターより西側のエリアにあり、診療放射線技師 19 名の他、放射線科医師、看護師、事務職員が協力して病院と健康管理センターの放射線業務を一手に引き受けております。放射線部では 20 数年前の病院移転時に導入した機器などを大切に使ってきましたが、昨年度 3 種類の機器が更新されました。新しい機器の性能や特徴などを、紹介いたします。

CTの撮影時間が短くなりました



導入されたCT

今回導入した CT は 64 列/128 スライスの検出器を搭載しています。CT は検査したい部位を中心として検出器を回転させて撮影をします。今回導入した

CT は 1 回転で 0.5mm 厚の画像を 128 枚撮影する事が出来ます。また、1 回転に要する時間は最短で 0.35 秒/1 回転の性能です。（前機種は 0.5mm 厚 4 枚/1 回転 回転時間は 0.75 秒/1 回転）この高性能を生かして次の様な撮影が可能となりました。

- ①心臓の拍動に合わせての心臓血管（冠動脈）の撮影
- ②頸部から足部までの広範囲な血管造影
- ③歯科領域、耳鼻科領域での精密撮影などが可能となりました。

その他には同時に更新したコンピュータを用いて 3 次元表示（3DCT）、内臓脂肪測定なども可能です。これまで行われていた撮影も上記性能を生かして短時間（呼吸止め）撮影が可能です。担当の医師とご相談ください。

（副技師長 新津裕）

最新型の装置に替わりました

最新型のデジタル FPD-DR 方式 1 台、デジタル I.I-DR 方式 2 台が導入され、内視鏡センター

にデジタル FPD-DR・C-アーム型も併せて導入して頂きました。導入されたデジタル装置には沢山のメリットがあります。その幾つかを紹介いたします。

- ①被ばく線量を抑えた透視・撮影。面積線量計による 1 検査ごとの被ばく線量が算出可能
- ②デジタル画像データの受け渡し
- ③画像処理等により拡大撮影、ネガポジ反転、ズーム観察
- ④ビデオ動画による、嚥下、排便、その他の各種造影動態観察
- ⑤ C アーム装置利用による精度の高い内視鏡・気管支鏡等外科的検査・処置

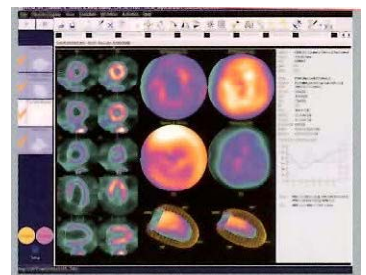
放射線部は各科からの胃、小腸、大腸、その他の X 線造影検査・処置の依頼に速やかに対処致します。担当医とご相談ください。（奥田圭二）



最新型のデジタル装置

患者様に優しい装置になりました

ガンマカメラは、患者様に投与した微量の放射性医薬品から放出される γ 線をカメラにて収集し、薬の体内分布を画像化する装置です。主に、脳や心筋などの血液の流れ具合や、骨にできる病気を早期に発見する装置です。今回導入された 2 検出器型デジタルガンマカメラ Symbia E は、寝台位置が低く幅が広いので、高齢者や車椅子の患者様にも安心して受けて頂ける優しい装置です。また、新しい画像処理により、検査時間が短縮され高画質、高精度の検査が可能となりました。安心して検査を受けて下さい。（山本進治）



新しい装置の画像